

ライフサポートブックくるめ もやい

使い方&書き方 ガイドブック

1期 0歳から15歳まで
(義務教育終了まで)

つくってみましょう
あなただけのライフサポートブック

困っている人がいる。

困っている中でも、頑張っている人がいる。

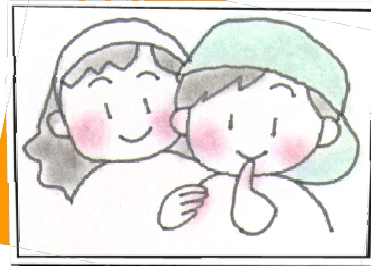
困りながらも、頑張って みんなとつながろうとしている人がいる。

そんな あなたやあなたの家族と共に

あなたと私がつながるための、あなたとみんながつながるためのツール

ライフサポートブック

もくじを、開いてください。さあ、つくってみましょう



名前

久留米市

目 次

使い方&書き方ガイド	2ページ
プロフィール（記入例）	4ページ
相談・受診・療育などのあゆみ（記入例）	6ページ
医療情報のまとめ（記入例）	7ページ
小さい頃の記録・小さい頃のエピソード（記入例）	8ページ
園での様子・園生活でのエピソード（記入例）	10ページ
家庭での様子（記入例）	13ページ
学校での様子・学校生活でのエピソード（記入例）	14ページ
受診時にお願いしたいこと（記入例）	18ページ
周囲の人をお願いしたいこと（記入例）	20ページ
関わりのある人達（記入例）	21ページ
関係者マップ（記入例）	22ページ
応援メッセージ（記入例）	23ページ

“もやい”とは…

「もやう」という言葉には二つの意味があります。

舫　　う　： 船と船とをつなぎあわせること。

催　　合　う　： 寄り合って共同で事をする。物を共同で使用する。

人と人がつながり、支え合う地域を皆で創るため に生まれた

「ライフサポートブックくるめ“もやい”」

大いに活用し、皆で育てていきたいと願っています。

ライフサポートブック “もやい” 使い方&書き方 ガイド



ライフサポートブックとは？

ライフサポートブックは、本人に関する様々な情報を周囲の人に伝えるためのツールです。成長していく過程（ライフステージ）での、その時々のある出来事や過去の経緯、日常の過ごし方や関わりの様子、特徴や支援の方法などを記入し、家族以外の人に関わる時に必要な情報を伝え、就学や進級・進学など、生活の場面や関わる人が変わる時に、スムーズなバトンタッチができるように使います。

書く人と読む人がお互いにコミュニケーションをすることが大切ですので、最初から詳しく書く必要はありません。まずは形式にとらわれ過ぎずに書いてみましょう。

※ 必要な方は久留米市のHP (<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/>)から「くらしの情報」→「子育て支援」→「発達支援・幼児教育」→「ライフサポートブックもやい」へアクセスしていただくとダウンロードしてご利用できます。筑後地区ノーマライゼーション研究会のHP (http://www.geocities.jp/normalization_chikugo/) からでもダウンロード可能です。



ライフサポートブックの役割と使い方

1. 書く（明確にする）

作成し管理するのは、保護者（または本人）です。

日々の関わりのなかで行っている支援（接し方や対応の工夫など）について、家庭での様子だけでなく、園や学校での出来事や過ごし方についても先生に尋ねながら、協力してもらって書いていきましょう。ライフサポートブックを書くことで様々な情報が整理され明確になります。また、本人が持つ特性をより理解することができ、新しい対応や工夫を考えるきっかけになります。

2. 伝える（理解する）

進級・進学などの節目や支援者が変わる際に、これまでの経緯や取り組んできたことなどの情報を新しく関わる人達に伝えることは、慣れない環境の中で本人が安心して過ごすためにとても大切な事です。ライフサポートブックを使うことで、関係する機関や人が変わるたびに同じことを最初から何度も説明しなくて済みます。

また、本人に関する情報を過不足なく支援者に伝えることができ、ライフステージに応じた一貫した支援をすることにも役立ちます。

3. 記録する（保存する）

ライフサポートブックに、その時々の様子を書き記していくことは成長の記録になり、過去の出来事や支援の履歴が残されます。経験の積み重ねは、先々の様々な取り組みの指針となり、道しるべにもなるでしょう。また、ライフサポートブックに書き込むだけでなく、その他の情報（母子手帳、園・学校の連絡帳や個別の教育支援計画、診断書や検査記録、就業体験の記録など）を一緒にファイルしておくことによって、支援のあり方を検討することもでき、一貫した支援の継続とネットワークの充実を図ることができます。



ライフサポートブックの書き方

1. 書けるところ、書きたいことから書きましょう

本人が安全に、安心して、楽しく過ごすため、また、関わりを持つ周囲の人が理解して支援するために必要だと思うことから書いてみましょう。

項目にないことも自由に書き加えて構いませんし、枠に入りきれない場合は欄外や別の用紙を加えて書くなど、自由に書いて下さい。

2. 理解や支援につながることを具体的に書く

「～できません」「～は嫌いです」など、否定的なことを書くのではなく、「〇〇するとできます」「△△は得意です」「□□するのが好きです」等、どのような支援が必要なのか、何に興味関心があるのかなど、関わる際のヒントになることを、できるだけ具体的に書くようにしましょう。

3. 必要な部分を、必要な時に使う

年齢によって1期「0歳から15歳まで（義務教育終了まで）」と、2期「16歳から（義務教育終了後から）」の2部構成になっています。加除式ですので使う時期や目的によって必要がなくなった部分は取り外したり、必要なページを加えたりして自由に使って下さい。

4. やりとり（コミュニケーション）を大切に

支援者に伝えたいことをシンプルに分かりやすく、まとめて書きましょう。

要求ではなく、理解してもらえるように伝えることを心掛けましょう。

支援の内容や方法を検討する際に参考になることも書いてみましょう。

情報や思いを共有できるように、支援者と一緒に書いてみるのもひとつの方法です。あれこれとやりとりをするうちに、違った視点に気がついたり、連携や協力がスムーズになるきっかけになるかもしれません。

5. 用途に合わせて自分なりに

書きやすさや書きにくさは、人によって、また書く内容（項目）によって異なります。記入する内容や量については様々な立場に配慮し検討して作成しましたが、書くことが多すぎたり書きづらいと感じたりする項目があるかもしれません。また逆に、書いているうちにもっと詳しく書くことが必要になるかもしれませんし、使っているうちに何か新しい使い方（利用方法）を思いつくかもしれません。

書く人にも読む人にも、使いやすいライフサポートブックになるように、用途に合わせて自分なりに創意工夫をしてみてください。

個人情報の保護について

ライフサポートブックには、個人情報のもとより支援者や関係機関に関する情報が多く記載されていますので、プライバシーに十分配慮して慎重に取り扱って下さい。

また、保護者または本人が許可した支援者だけがライフサポートブックを見ることが出来ます。支援に関わらない第三者に無断で情報を提供すること、承諾なしにコピーして二次的に使用することは禁止しています。

記入例 プロフィール①

名前 (ふりがな)	久留米 つむぐ (くるめ つむぐ)			写真を貼りましょう
愛称 (日頃の呼び方)	つむくん			
生年月日	〇〇年 △△月 □□日生			
性別	男・女	血液型	☆型	
住所・連絡先	〒〇〇〇—〇〇〇〇 久留米市 〇〇町 TEL 〇〇—〇〇〇〇 携帯 〇〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇			
緊急連絡先	連絡がつく携帯番号などを書きましょう			
家族	氏名	続柄	所属	連絡先
	久留米 〇 〇	父	〇〇会社	〇〇—〇〇〇
	久留米 □ □	母		
		兄	〇〇中学校	
		本人		
		妹		
就園歴 教育歴 療育歴 など	就園 ー 平成 〇〇年 4月～ (△△) 保・幼 平成 年 月～ () 保・幼 平成 年 月～ () 保・幼 就学 ー 平成 〇〇年 4月～ (□□) 小学校 平成 年 月～ () 中学校 平成 年 月～ () 高校 療育 ー 平成 〇〇年 5月～ (〇〇療育センター) 平成 年 10月～ (△△発達相談) 平成 年 月～ ()			
手帳 福祉 サービス利用 など	<input checked="" type="checkbox"/> 手帳なし <input type="checkbox"/> 療育手帳 (A1・A2・A3・B1・ B2) <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 (種 級) <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳 (級) <input type="checkbox"/> 特別児童扶養手当 (級) <input type="checkbox"/> 児童扶養手当 (級) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 医療証 (乳児・母子・重度) <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービス利用など 日中一時支援 7日/月			

記入例

プロフィール②

健康面	アレルギー など	アトピー性皮膚炎 (卵白の入った食べものは禁止しています)
	服薬の状況 経過 など	服薬中 (抗アレルギー剤、朝・夕2回/日)
日常生活	食事	自立・チェック必要・指示が必要・介助 ()
		アレルギーや偏食など (卵白のアレルギーあり、生野菜が苦手)
	着がえ	自立・チェック必要・指示が必要・介助 (こだわりあり、何日も同じものを着たがる)
	排泄	自立・チェック必要・指示が必要・介助 (慣れない場所では声かけ必要)
	生活リズム	整っている
あそび 余暇	休日の 過ごし方	ブロックやテレビゲームや読書など
	好きなこと 苦手なこと	好き…ブロックなど1人遊び 嫌い…集団遊びでルールが難しいもの
外出	配慮 すること	必ず家族に伝えてから外出すること (いない時には、場所・帰宅時間を記入した置き手紙をする)
コミュニ ケーション	本人⇒周囲 表現方法	言葉・1～2語文・ジェスチャー・指差し 手をひっぱる・道具使用(カードなど)・文字 その他()
	周囲⇒本人 伝達方法	言葉・絵や写真・ジェスチャー・見本の提示 文字・その他()
興味 関心 こだわり		テレビゲームが大好きで、時間を忘れてしまうぐらい没頭する
感覚過敏 (有 / 無)	聴覚()・視覚(有)・触覚()・味覚() 嗅覚() その他の感覚()	
活動や 特性への 配慮		・視覚に優れ聴覚が弱いために、見て判断していることが多い。(聞いていないことがあります。) テレビは字幕をつけたほうがより分かりやすく楽しめる。 ・興奮すると声が大きくなり周りが見えなくなり、体のあちこちが動く。大体、楽しいことでの興奮なので、大きく深呼吸することで我にかえり落ち着く。

記入例 相談・受診・療育などのあゆみ

発達に関して相談や療育へ行ったり、病院などを受診した記録、検査などを行った日付けや場所、利用している福祉サービス（障害者手帳、各種手当、サービス利用、程度区分など）の記録を残しておきましょう。

いつ頃	どこで（機関名）	どんなことで	結 果
○年 ○月	○○小児科	4 か月児健診	異常なし
	○○小児科	1 歳 6 か月児 健診	要観察
	○○小児科	3 歳児健診	要精密
	ことば相談室	ことばの相談	○○病院 小児科医 △△D r から 多動を指摘、要フォロー
	幼児教育研究所	ことばの相談 より紹介	△△学級 週 1 回通う
	□□病院	診察	小児科医 ○○D r から ADHD の疑いありと診断
	○○学園	診察・療育	個別訓練・療育 週 1 回（作業療法・保育）
	△△保育所	保育所入園	養護児審査の結果、加配保育士（+）
	児童相談所	療育手帳判定	療育手帳判定 B 2
	□□病院	知能検査	W I S C III 実施 結果（動作性=□、言語性=○、全体=△）
	△△保育所		卒園
	教育委員会	就学相談	本人の状況から、特別支援学級在籍
	○○小学校	入学	特別支援学級在籍
	□□大学	発達心理相談室	個別療育 月 2 回

医療情報のまとめ

健康上の問題点や体の情報をまとめておきましょう。

アレルギー・過敏性

1、使用して体調が悪くなった薬があれば記載して、受診の時には伝えましょう。

薬の名前	年 月 日	問題になった症状
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

2、アレルギーの元（食物・動植物など）になっているものや対策を記載しましょう。

食べ物…卵（特に卵白）
 対策…以前、卵でじんましんが出たことがある。
 そのため、卵がはいっている食べ物は食べさせないようにしている。

かかったことのある主な疾病

麻疹	年 月 日		年 月 日		年 月 日
風疹	年 月 日		年 月 日		年 月 日
水痘	年 月 日		年 月 日		年 月 日
おたふくかぜ	年 月 日		年 月 日		年 月 日

体質の特徴（身体面での病気や体質を記載しましょう）

けいれん（年月日）、ゼーゼーいやすい、中耳炎をくり返す、視力・聴力の心配 など

- ・ けいれん（○年、△才ごろ）を数回起こし、てんかんの薬を服薬中。
- ・ アトピー性皮膚炎があるために、冬場は特に皮膚が乾燥する。
 （日頃は、保湿剤にて様子みる。かゆみがひどい時のみ、抗アレルギー剤を服薬する。）

受けた予防接種などを、母子健康手帳からコピーして貼っておいても良いでしょう。

記入例

小さい頃の記録（0歳から就学前まで）

小さい頃の様子や発達について、まとめておきましょう。

<p>乳児期のようす (0歳～1歳ごろ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・首のすわり（ 3 ）か月 ・お座り（ 8 ）か月 ・はいはい（ 5 ）か月 ・歩き始め（ 10 ）か月 ・人見しりは、いつ頃よくしていましたか。 （ ）歳（ 8 ）か月頃 ・おつむてんてん、ちょうだいなどのまねをしたのはいつ頃でしたか。 （ 4 ）歳（ ）か月頃 ・指さしは、いつ頃よくしていましたか。 （ 4 ）歳（ 6 ）か月頃 ・初めて、食べ物を“まんま”、車を“ブーブー”などと言ったのはいつ頃でしたか。 （ 3 ）歳（ 6 ）か月頃 ・乳幼児健診時の様子やこの頃気になったこと 言葉や指差しがない 						
<p>幼児期のようす (1歳～6歳ごろ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事がひとりのできるようになったのはいつ頃ですか （ 1 ）歳（ ）か月頃 ・オムツがとれたのはいつ頃ですか （ 2 ）歳（ ）か月頃 ・階段昇降をするようになったのはいつ頃ですか （ 1 ）歳（ 3 ）か月頃 ・二つの言葉を組み合わせて使うようになったのはいつ頃ですか （ 5 ）歳（ ）か月頃 ・自分の名前が言えるようになったのはいつ頃ですか （ 4 ）歳（ ）か月頃 ・どんな遊びが好きでしたか（何歳ごろどんな遊び） <table border="1" data-bbox="544 1491 1350 1693" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th>どんな遊び</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2～3歳頃</td> <td>お絵かき、積み木</td> </tr> <tr> <td>3～6歳頃</td> <td>お絵かき、ブロック、折り紙</td> </tr> </tbody> </table> ・誰とよく遊びましたか（親・きょうだい・お友達・ ） ・乳幼児健診時の様子やこの頃気になったこと <ul style="list-style-type: none"> ・ことばがでない、視線があわない、かんがつよい ・1歳6か月児健診⇒要観察、3歳児健診⇒要フォロー 		どんな遊び	2～3歳頃	お絵かき、積み木	3～6歳頃	お絵かき、ブロック、折り紙
	どんな遊び						
2～3歳頃	お絵かき、積み木						
3～6歳頃	お絵かき、ブロック、折り紙						

小さい頃のエピソード

(0歳から就学前まで)

※ お子さんが小さい時の様子、取り組んでいたこと、配慮や工夫、その他、印象的な出来事や思い出に残るエピソードなどがあれば書きとめておきましょう。

- ことばの指示は入りにくかったのですが、ひらがなを早くから覚えたので、文字からことばを取得した。
- 歌がすきで、何かこれを覚えてほしいなあと思うときは、行動を表すことばに節をつけて歌にして、一緒にみせて覚えた。
- とにかくじっとしていない子で、目をはなすと、どこに行くかわからない子だった。
- 初めてしっかりとした会話が成り立ったことばは、「おもしろいねえ～」だった。
- 園に入り、はじめは色々なことをやってみんなからびっくりされたけど、集団の中で、ものすごく成長した。友達のかってすごいなあと思った。



記入例

園での様子

お子さんの園（幼稚園・保育所・その他）での様子を書きましょう。

園名：（ ○○保育園 ） クラス名： ☆☆ 組 （年齢等 年中クラス ）
担任の先生（ □□ ）先生 ※他に関わってくださる先生など（ 加配の○先生 ）

☆園生活のようす（生活習慣、身辺のこと など）

① 食事

援助	いる ・ 一部介助 ・ いない		
	好きなもの	苦手なもの	アレルギー
	肉類、めん類	・ くだもの ・ いくつかの食材が混ざっているとき、食感が嫌で食べない。	なし

こうすれば大丈夫！（食事のときの工夫）

- ・ いくつかの食材が混ざっているときは、具を事前に取り除けば大丈夫。
- ・ 食べることに集中できないときは、タイマーなどで時間を決めて知らせればOK。
- ・ ウロウロするときは声かけにて促し、席に座ったらたくさん褒める。

② 衣服の着脱

援助 **いる** ・ 一部介助 ・ いない

- ・ 簡単な上着（Tシャツ）は大丈夫だが、ボタンとファスナーは練習中。

こうすれば大丈夫！

- ・ ボタンは、位置を確認してあげることで自分で可能。
- ・ 着替え自体はできるが、何らかのこだわりがあって、着替えないことがある。
- ・ 本人の好きな本を1回読んだら着替える等、気持ちを落ち着かせてから着替えを促す。

③ 排泄

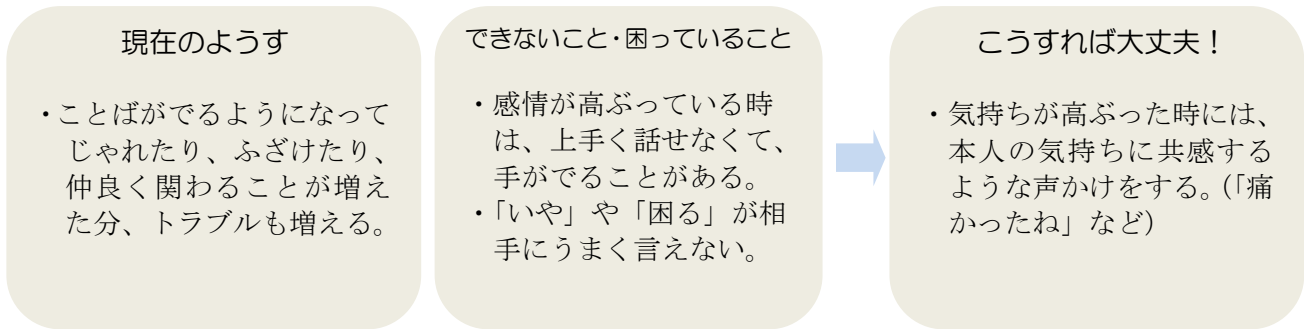
援助 **いる** ・ 一部介助 ・ いない

- ・ 小便は自分ひとりで大丈夫。
- ・ 大便はお尻を拭くときだけ、介助が必要。
- ・ 大便は、洋式トイレでしかできない。

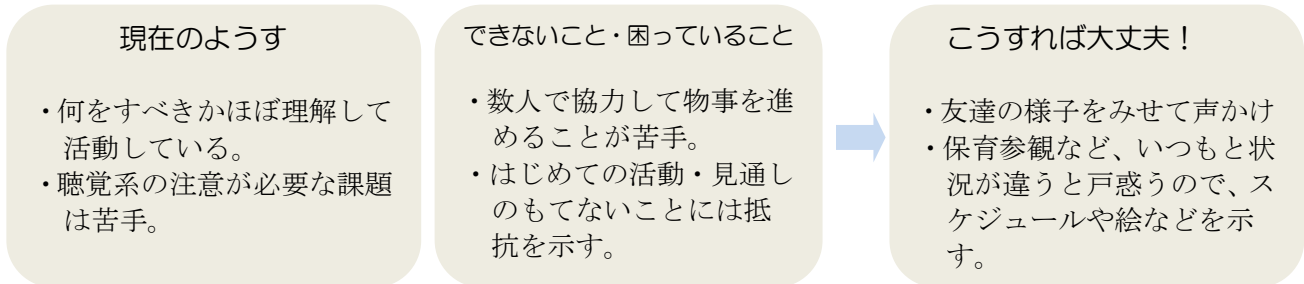
こうすれば大丈夫！

- ・ 大便時に「拭いてください」と言うのを練習中。
- ・ トイレに行くことを忘れるぐらい集中して遊ぶことがあるため、時間を見て、個別に声かけ（ポンポンと肩を叩いて）してほしい。

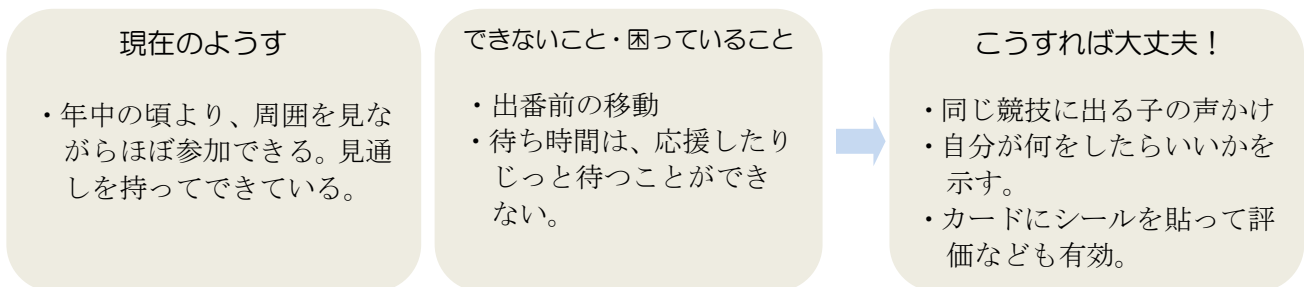
☆コミュニケーション・人との関わり（ことば・交友関係について）



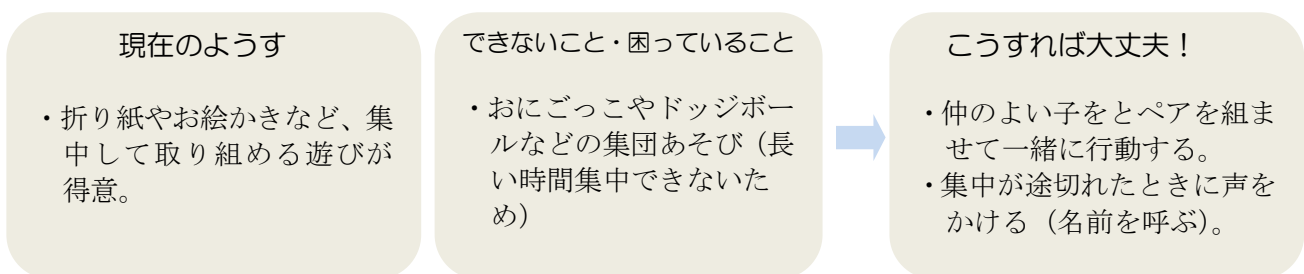
☆保育中でのようす（指示や設定内容の理解・興味関心・課題への集中など）



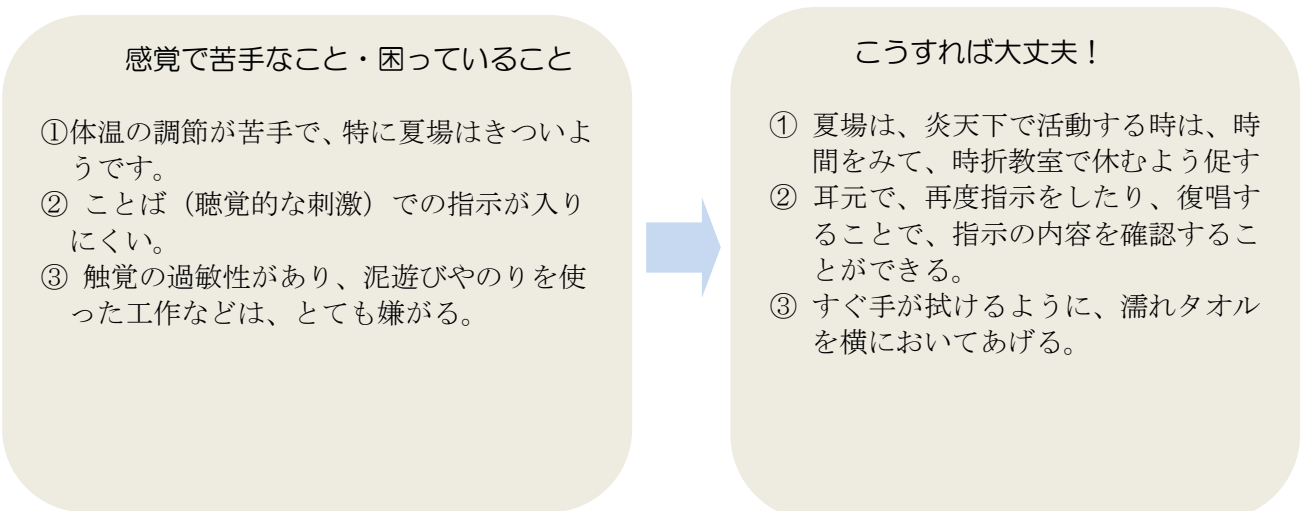
☆行事（お遊戯会・運動会・入園式・卒園式など）



☆その他の活動（自由あそびのようす・当番活動など）



☆感覚の特徴で困っていること（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚・その他の感覚）



記入例

園生活でのエピソード

※ お子さんの園での様子、園で取り組んでいたこと、配慮や工夫、家庭と園とのやりとり、その他、印象的な出来事や思い出に残るエピソードなどがあれば書きとめておきましょう。

- ・ できることできないことに大きな差があり、精神的な波が激しいので、それでさらに出来ることにも大きな差があるので、園でも家庭でも、その格差をみながら本人の状態を把握し、支援の加減をしていた。
- ・ 環境の変化に敏感で（クラス替えやはじめての経験など）、新しい環境になれるまで、かなりの時間を要する。慣れるまでは時間を要しましたが、ある程度慣れたら少しの配慮でOKだった。
- ・ 感情の表出が難しく、度々パニックをおこしていました。本人が少しでも感情を表現できないか？と先生方から場面にあった気持ちの声かけ（「悔しいね」「ビックリしたね」「残念だったね」など）をしていただき、パニックの回数も減り、おちついて成長してきた。
- ・ 褒めて伸びるタイプなので、先生方も、小さな事から「できたね～！」と褒めてもらい、伸ばして頂いた。
- ・ いけないことをした時は、皆と同じように「それはいけないことだ」と叱って、ルールを覚えていくように教えてもらった。



記入例

家庭での様子（〇〇歳頃）

お子さんの家庭での様子について、書いてみましょう。
 おうちの人以外の方に、お子さんのことを知ってもらうときに、読んでもらいましょう。

項目	得意なこと または できること	苦手なこと または できないこと	どのように 工夫しているか
食事のこと ・好き・嫌い ・食べ方 など	・箸を使って食事する	・満腹感が分からないことあり ・生野菜苦手	・小皿に小分けする ・今日のお代わりは1回までと先に伝える
着替えのこと	・ほぼできる	・何かしらのこだわりがあると着替えない ・エプロンの紐を後ろで結べない	・本人の好きなことを1回させてから着替えさせる ・先に紐を結んでからかぶる方法なら1人で可能
排泄（トイレ）	・場所が分かる所なら一人でできる	・緊張している時や夢中になる時に、トイレの感覚がなくなる	・一定の時間毎に、肩を叩きながら声かけ
生活リズム （睡眠のことなど）	・平均8時間睡眠 ・生活リズムは整っている	・明るいと眠れない	・遮光カーテンなどで部屋を真っ暗にする ・安心グッズのタオルなどを握っておく
コミュニケーション ・話すこと ・聞くこと ・読むこと ・書くこと ・会話すること	・読み書きは得意	・会話が苦手で、自分から話しかけることは少ない ・どうしてよいか分からない時には、固まってしまう	・相手から話しかけられると答える ・いつ・どこで・だれとなど、思い出しやすいように、ヒントを書き出していく
興味関心、遊び （余暇の過ごし方）	・読書・テレビゲーム	・集団でのルールの難しい遊び ・ゲームなど、決まりがないと止めることができない	・事前にルールを紙に書いて、遊び方を確認しておく ・事前に時間の約束をし、タイマーで設定
環境の問題 ・音や温度、感覚の過敏さなど	・視覚はものすごく優れている	・光に敏感。光が強すぎると周りが見えにくくなる。 ・音声の聞き取り苦手	・つばの広い帽子を深くかぶる（サングラスでもよい） ・耳元でゆっくりくり返す
外出のとき ・配慮すること ・交通機関利用など	・バスや電車を1人で利用すること可能	・何も言わずにふらっと出て行くことがある	・腕時計を持たせ、どこまで・何時に・ルートを確認しておく

記入例

学校での様子

学校でのお子さんの様子について書きましょう。分からない時は先生に尋ねるのもいいですね。
通知表など様子が分かる資料を貼るのもいいでしょう。
(足りない分は、コピーしてください。)

学校名：(○○小学校) 学年・組：(1年2組) 担任の先生 (○○) 先生
※他に関わってくださる先生など (養護教諭 △先生、
特別支援教育コーディネーター □先生)

☆学校生活のようす (生活習慣、身辺のこと など)

① 食事

援助 いる ・ 一部介助 ・ **いらない** 自分で食べられる、箸も大丈夫
好きなもの 苦手なもの アレルギー

- ・最近は何食はなく、
トマト以外は大丈夫です。
- ・特に肉類が好き。

- ・トマトの食感が苦手
(生でなくトマトソースの
ように加工してあるものは
大丈夫)

- ・たまご

こうすれば大丈夫！ (食事のときの工夫)

- ・給食は事前にメニューを知らせておけば、大丈夫。
- ・食欲がないときは、かなり体調が悪いときなので、無理をさせないで下さい。

② 衣服の着脱

援助 いる ・ **一部介助** ・ いらない

- ・体操服に着替えることは可能
- ・給食エプロンのひもが1人で結べません

こうすれば大丈夫！

- ・先にひもを結んでから被る方法なら1人で可能。
- ・着替えに時間がかかる時は、何分までと制限時間を伝える。

③ 排泄

援助 いる ・ **一部介助** ・ いらない

- ・小便は自分ひとりで大丈夫
- ・大便は、洋式トイレでしかできない

こうすれば大丈夫！

- ・トイレに行くことを忘れるぐらい集中して遊ぶことがあるため、時間を見て、個別に声かけ (ポンポンと肩を叩いて声かけ) をする。

☆コミュニケーション

現在のようす

- ・言葉かけで伝えていますが、一部支援が必要。

できないこと・困っていること

- ・挨拶などは、目をみてできない。
- ・冗談を本気にとる。
- ・自分の好きな話ばかりしてしまう。

こうすれば大丈夫！

- ・指示は短い言葉で一つずつ伝える。
- ・比喩を使わず、具体的に伝える。

☆友達関係（休み時間の遊び・交友関係について）

現在のようす

- ・特定のお友達がいる。
- ・単純な遊びならできる。

できないこと・困っていること

- ・ドッジボールなどは、まだルールがわからないようです。
- ・お友達の気持ちなどがわかりにくいです。

こうすれば大丈夫！

- ・紙などに状況を書きながら説明すると分かりやすい。

☆授業中

現在のようす

- ・個別に声をかけている。
- ・教室を出てしまうこともある。

できないこと・困っていること

- ・集中力がなく、すぐ気が散る。
- ・姿勢が崩れやすい。
- ・指示されたことを、すぐ忘れる。

こうすれば大丈夫！

- ・席は先生の近くがよい。
- ・指示やめあては、出来たら黒板に書く。

☆行事（全校集会・運動会・入学式・卒業式など）

現在のようす

- ・見通しがもてれば大丈夫。
- ・運動会では、競技の順番の横に、本人の動き方を提示してもらいうまくいった。

できないこと・困っていること

- ・見通しがもてないと落ち着かない。
- ・ざわざわした音は苦手。

こうすれば大丈夫！

- ・予め、プログラムを用意する。
- ・音がざわざわしているときは、耳栓をするように促す。

☆掃除や給食などの当番活動

現在のようす

- ・給食準備中、教室から出て行き遊んでいる。

できないこと・困っていること

- ・給食はどのくらいつげばいいかわからない。

こうすれば大丈夫！

- ・どのくらいつげばいいか、見本があれば大丈夫。

☆ 学習面のこと

(ひらがなを読む・書く、漢字を読む・書く、文章を読む・書く(作文)、算数の計算、文章題、など)

現在のようす

- ・ひらがなの読み、書きはできる。
- ・計算は手を使って数えれば大丈夫。

できないこと・困っていること

- ・文章を読むのは、拾い読みで時間がかかる。

こうすれば大丈夫！

- ・文章を読むときに、どこを読んでいるかを指示しながら読むとうまく読める。



☆ 感覚の特徴で困っていること (視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚・その他の感覚)

感覚で苦手なこと・困っていること

- ① 聴覚の過敏さがある。
休み時間の教室や集会のときのザワザワした環境は苦手です。
- ② 触覚の過敏さがある。
長袖のセーターなどはチクチクして嫌なようで、冬でも半袖を着たがる。

こうすれば大丈夫！

- ① 耳栓をすれば大丈夫。
- ② 長袖のアンダーシャツを着れば大丈夫。



記入例

学校生活でのエピソード

※ お子さんの学校での様子、取り組んでいたこと、配慮や工夫、家庭と学校とのやりとり
その他印象的な出来事や思い出に残るエピソードがあれば書き留めておきましょう。

- 入学したばかりの時は、環境の変化に興奮しがちで、はじめて本人を見た人は驚きの連続だった。
- 家庭と学校とのやりとりは、連絡帳で細かく連絡しあい、その中で様子をみながら本人の安定不安定を考慮して指導してもらった。
- 身体を動かすことが好きで、週 1 回のスポーツを始めたらずいぶん、気持ちのコントロールも出来るようになった。
- 学年があがるにつれ、周りの様子もだんだん気にするようになり、行事などの前に、どんな気持ちか確認しながら体験させていた。
- 褒められて伸びる子ですが、学年が上がるにつれ、あからさまにオーバーに褒めるのではなく、さらりと流すようにほめ、子ども自身を認めてあげると心地よいようだ。
- 叱る時は、ビシッと叱って、メリハリをつけることも、今は必要だと思う。
(10歳頃)

何歳ごろのことかが分かるように、
エピソードの後に (〇〇歳ごろの様子)
と書き込んでもいいですね。



受診時にお願いしたいこと

かかりつけの医院などを受診するときなど、先生にお願いすることをまとめておきましょう。
診察する前に見せておけるといいですね。

本人が嫌がること、苦手なこと、怖がること

触られる(体・耳・頭・口) 喉を見られること ベッドに寝ること
待つこと 大きな声 暗いところ たくさん話しかけられること
人が多いところ 口を開けること 仰向けに寝ること
小さな子どもの泣き声 大きな機械音 掃除機などの吸引音
初めての場所 初めての人 白衣 注射 その他()



こうすれば大丈夫

- ・待つこと⇒本やゲームがあれば待てる。
- ・話かけられること⇒短いことばで、その都度聞いてください。もしくは、紙に書いてもらえるとすぐ理解できる。
- ・ザワザワした所や泣き声が苦手なので、あと何分と伝える。長くなりそうだったらその場から離れて待つ(車の中など)。

本人からの意志表示や伝え方

話し言葉でいろいろなことを自由に伝えられる
言葉を話すが伝えられることは限られている ジェスチャー
文字 絵・写真カード 実物を示す 手をひっぱる
その他()

本人へ伝えるときに分かりやすい方法

実物を見せる 写真を見せる 絵を見せる 文字を書いて見せる
ジェスチャー 日常よく使う短い言葉で伝える 長い文でも理解できる

本人が理解できる時間の示し方

アナログ時計 デジタル時計 キッチンタイマー 数を数える



こうすれば大丈夫

- ・不安なときは、すぐ起き上がり診察室からでていこうとするので、じっと横になる必要があるときは、数を数えると待つことができる。

診察前に
知っておいて
ほしいこと

<p>薬について</p>	<p>本人が使うことができる薬の剤型 錠剤 カプセル 粉薬 シロップ 坐薬 湿布 塗薬 点眼</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>薬の飲ませ方で工夫をしていること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・粉薬のザラッとした感覚が苦手です。なるべくシロップでお願いします。 </div>
<p>これまでに経験したことがある診療・検査</p>	<p>これまでに経験したことのある診療・検査 検温 聴診 触診 喉を診る 耳を診る 鼻を診る 聴力検査 耳垢取り 眼を診る 視力検査 点眼 採血 点滴 予防接種 脳波 レントゲン CT MRI 心電図 エコー 傷の縫合 歯科診療 入院 手術 その他（ ）</p>
<p>その他</p>	<p>本人が好きなもの・こと （おもちゃ、キャラクター、食べ物、趣味など。特に「ごほうび」「暇つぶし」「気持ちの切り替え」として使えそうなこと）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・電車がすきなので、電車のおもちゃや図鑑などがあるとよい。 </div> <p>待ち時間の過ごし方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の図鑑があると静かにすごせる。 </div> <p>その他、心配なこと、伝えてきたいこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・会話がうまく聞き取れない時があるので、ゆっくり簡潔に伝えてください。 ・点眼が苦手。なれない場所や不安な時に、無理やりしようとするとうずくて大きな声が出てしまうことがある。 </div>

記入例

周囲の人をお願いしたいこと

買い物、外食、習い事、散髪、交通機関を利用するときなど、
周囲の人をお願いしたいことをまとめておきましょう。

どこで どんな時	お願いしたい内容
外出先で	<ul style="list-style-type: none"> 時々、大声を上げることがありますが、自分なりに新しいことにチャレンジしています。しばらく待っていただければ落ち着きます。
床屋さん	<ul style="list-style-type: none"> 急にタオルを顔にのせたり、いすを倒したりすると、驚いてパニックになることがあります。次に何をするかを教えていただければ、安心して座っていられます。



記入例

関わりのある人達

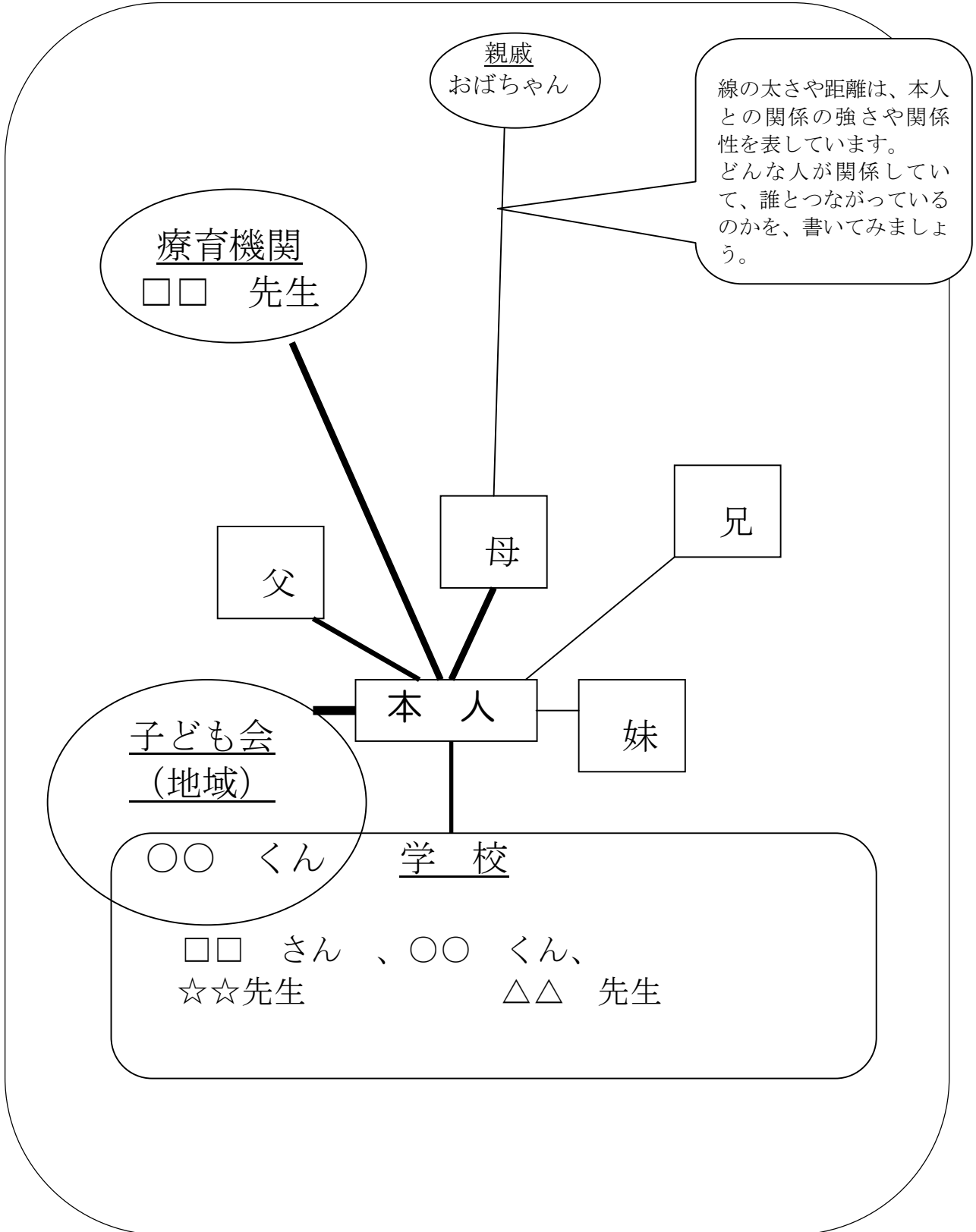
普段関わりがあるのはどんな人達ですか。
連絡先などまとめて書いておくと、いざというときに便利ですね。

氏 名	所 属	関 わ り	連 絡 先
〇〇先生	〇〇 学園	療育	〇〇—〇〇〇
□□ 先生	△△ 病院	診察	
☆☆ さん	となりの方	放課後や地域での見守り・声かけ	
〇〇 くん (母：〇〇さん)	友達 (友達の母)	クラスの友達 (一番の親友)	

記入例

関係者マップ

生活する上で、本人を取り巻く環境（関わりのある人や機関など）は、
どんなところがありますか？図に描いてみましょう。



記入例

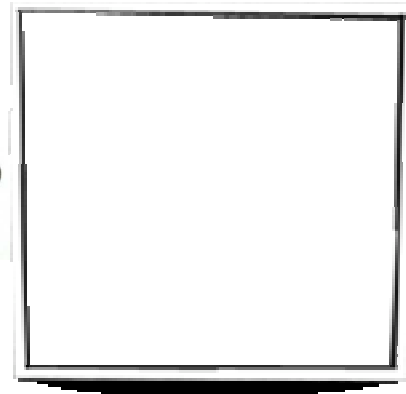
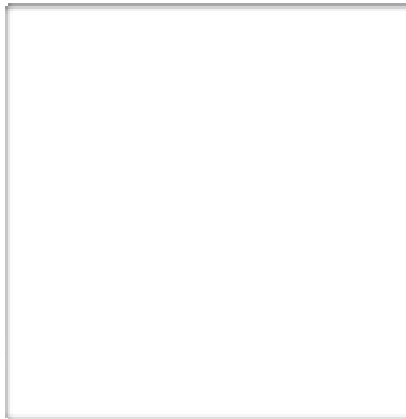
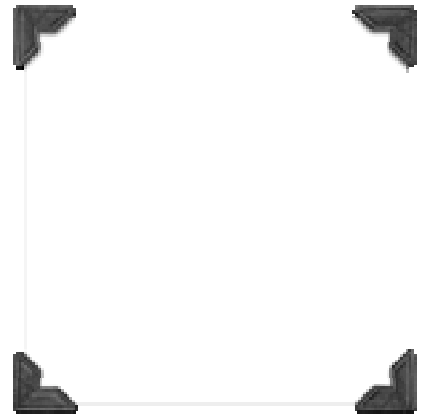
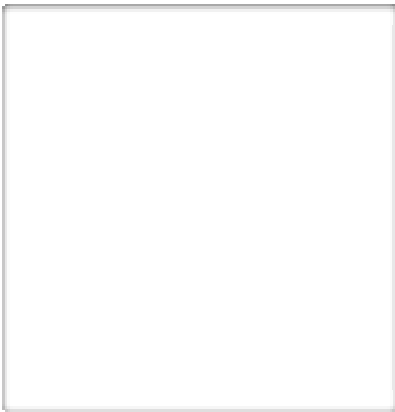
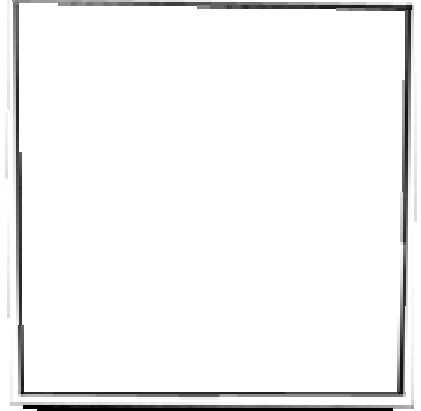
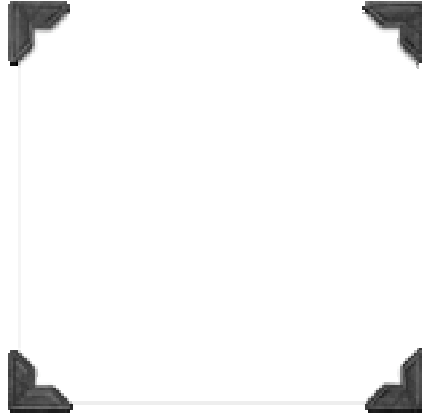
応援メッセージ

応援してくださる人達から、メッセージをもらいましょう。
絵や写真を貼ってもいいですね。

○ 保育園 ☆先生より

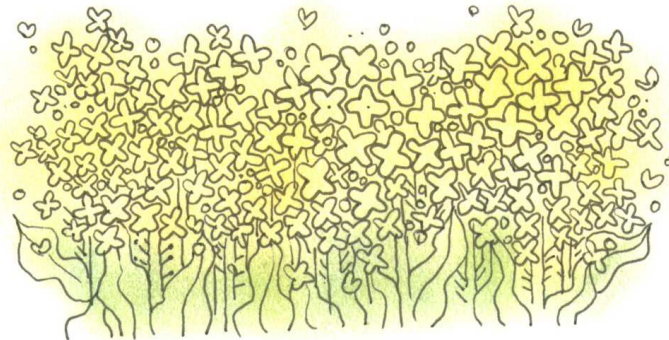
これからも、家庭と連携しながら、一緒に成長のきっかけづくりをお手伝いしたいとおもいます。

○○ちゃん！
おうえんしています。



ライフサポートブックくるめ もやい

使い方&書き方 ガイドブック



この冊子は大切なものです。
拾得された方は、お手数ですが下記までご連絡下さい

連絡先

発行元 久留米市子育て支援部幼児教育研究所
TEL 0942-35-3812

yohken@city.kurume.fukuoka.jp

協力 筑後地区ノーマライゼーション研究会